

介護補助スタッフ養成講座の事業内容

事業実施の背景

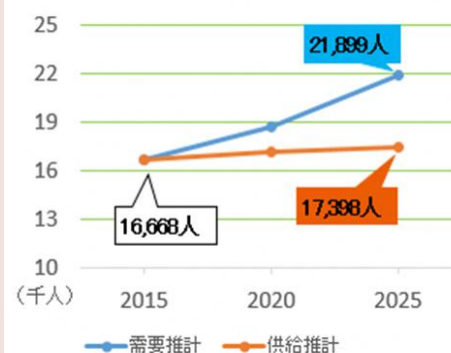
厚生労働省が2018年に発表した第7期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数では、2025年に沖縄県内で必要となる介護職員の充足率は全国で4番目に低い79.4%と推計されている。2万1899人の需要見込みに対し、供給は1万7398人で、需要と供給の推計に4501人の開きが生じている。さらに県内では全国と比べて介護職員の離職率が高いことも懸念され、沖縄県においても「人材の確保が喫緊の課題」と捉えており、対策が急務である。

また、平成29年度における本市の産業別新規求人数の調べによると、医療・福祉に関する求人数が一番高く(2,802人)、職業別就職件数の(1,452件)うち、介護サービスや保健医療サービスを含むサービスの職業に就職した件数は316件(21.8%)と比較的高くなっている。今後も介護需要の高まりにより介護人材ニーズは高くなっていくと考えられる。高年齢者でも従事することができる介護業務について切り出し等を行い、マッチングを図ることで労働力不足の解消に繋げていくことが可能となる。



講師の「うらそえ介護福祉士会」

県内の介護職員の需要と供給(推計値)



昨年度、介護補助スタッフ養成講座の様子

介護補助スタッフ養成講座は、介護業務の就業に必要なスキル等を身につけ、面接会を通して事業所と求職者のマッチングに繋げることを目的としています。今回、講座の講師を担当して下さったのは「うらそえ介護福祉士会」さんです。介護の現状や、ワークショップを通して、互いの介護の経験等についてお話しをする機会もありました。また座学ではなく、実際に介護現場での実習も経験しました。講座時間数は、4時間×4日間＝合計16時間程度です。



講座のようす



実習のようす

介護職に関連したお仕事もあります。例えば、バスの運転手調理業務、清掃業、美容(ネイルやカット)、レク(三線、手遊び)などです。あなたの特技や趣味を介護現場で活かしませんか？